

資料番号	20010720
差出人	医療委員会
受取人	
採取方法	骨髄採取
通知区分	安全情報
事例分類	採取産物・採取バンク関連

タイトル	骨髄採取ドナーの自己血が返血されなかった事例
本文	<p>ドナーデータ：年齢：30歳代 性別：男性 自己血輸血量：当初 報告書では、800ml 実際には、400ml 返血詳細：主治医、麻酔科医は自己血 800ml 輸血を認識していた。また、自己血 800ml を用意していることは確認していた。しかし、看護師に対しては、800ml 輸血を確認（指示）していなかった。採取中は、400ml しか輸血しなかったが、主治医は輸血量を確認せず、報告も受けていなかった。手術場では、手術中に輸血されなかった血液は、医師の確認なしで輸血管理部門に返却するルールであったため、そのまま返却した。後日、輸血管理部門から自己血が手術室より返却されたままである旨の報告を受け、本事案が発覚した。【財団の対応】平成14年10月15日「自己血の取扱いについて」安全情報発出 ※採取担当医と財団事務局担当者がドナーと面談を実施し謝罪する。</p>

別紙タイトル	
別紙本文1	
別紙本文2	<p>さい帯血の採取や凍結保存、検査データの管理を行います。また、さい帯血移植に関するデータも管理するとともに、よりよい移植にするための評価も行っています。個人情報の管理は厳密に行い、プライバシーの保護には十分配慮しています。</p>